

二〇〇七年一二月議会 特別職の給料引き上げに反対の討論 07年12月18日

日本共産党 藤木くにあき

日本共産党の藤木くにあきでございます。私は、議案第172号に反対の討論をおこないます。今回の、条例案は昨年3月の定例議会に市長自らが、財政難を理由に08年3月まで市長以下の特別職の給料を率先して削減すると公約されてきたものを、わずか9か月で、自ら覆そうという、無責任極まりないものだと言指せざるをえません。

先の質問でも明らかになったとおり、財政の好転は全くありません。後ほど上程される、市庁舎の新築工事の入札結果も、市長の「公共工事のコスト縮減」の公約に反して99.2%という落札率で、数億円も高いものになっています。

そもそも、市長の報酬は、年間1千100万円を超えるものであり、異常に高い退職手当と合わせる、市民の生活実態と一番かけ離れた存在にあることを、しっかりと自覚される必要があるのではないのでしょうか。

財政難を理由に市民サービスを引き下げているもとで、自分の給料だけ、公約に反して上げることは、どう考えても認めるわけにはいかないことを指摘して、反対の討論といたします。